

【別表〇ー〇（46 単位申請用）】

＜プライマリ・ケア看護専攻教育課程＞審査規準

科目	審査規準
<b>専攻分野共通科目：</b>	単位の配分については、各大学で別に定めることもできるが、4つの分野の科目を最低10単位以上履修可能であること。
1. NPの役割	プライマリ・ケア領域のNPに求められる能力・役割・責任に関する知識・理論、他職種との協働に関する科目が置かれていること。
2. ヘルスプロモーション理論、疾病予防管理	ヘルスプロモーション論、地域社会の背景を捉え、健康増進・疫学・疾病予防を促進するための高度な知識・技術に関する科目が置かれていること。
3. 診断・治療・検査	プライマリケア領域における典型的な症状と疾病（急性および慢性）、薬物及び非薬物的療法に関する知識と高度実践看護及び技術（臨床推論、鑑別診断、臨床検査、臨床判断に関する知識と技術、この領域に適した医行為を含む）に関する科目が置かれていること。
4. 医療の質保証と安全管理	質の高い医療・ケア提供のための、医療倫理、医療安全の基本や体系的取り組み、リスクマネジメントの理論と対策に関する科目が置かれていること。
<b>専攻分野専門科目：</b>	プライマリ・ケア分野における専門的援助に関する実践的な知識を獲得するために必要な科目が設置されていること。以下のすべての専門科目（各2単位以上）が置かれていること。
1. 小児	乳児、学童期、青年期を発達段階の視点から捉え、プライマリケアニーズを予測した健康教育と小児が罹患しやすい疾病に関する高度実践看護の知識と技術に関する科目が置かれていること。
2. 成人	成人を発達段階の視点から捉え、特に生活習慣病や成人に特有の多様な健康問題や疾病の予防と治療に関する高度実践看護に必要な知識と技術（ジェンダーに関連した健康問題を含む）に関する科目が置かれていること。
3. 老年	老年期にある人を発達段階の視点から捉え、加齢がもたらす多様な健康問題や疾病の予防と治療、ならびに終末期に関する高度実践看護に必要な知識と技術に関する科目が置かれていること。
4. 精神	精神的健康問題の把握、代表的な精神疾患の予防・早期発見、治療、およびリハビリテーションなどに必要な知識と技術に関する科目が置かれていること。
5. 総合演習Ⅰ	事例を用いて、臨床推論に基づく、包括的なアセスメント、必要な検査の選択、エビデンスに基づく治療やケアの選択、ケアの調整、多職種との協働、倫理的意思決定に関する一連の高度な実践力を身につけるに関する科目が置かれていること。
6. 総合演習Ⅱ	プライマリ・ケア領域において求められる医行為実践のための関連法規の理解と、プロトコルの作成、それに基づく技術演習とその評価、修正の一連のプロセスを検討する科目が置かれていること。
<b>実習科目：</b>	
実習	以下のような内容が実習に含まれていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期対応に関する実習</li> <li>・あらゆるライフスパンを貫く対象者の実習</li> <li>・関係機関への照会に関する実習</li> <li>・診断治療、検査に関する実習</li> <li>・他職種との協働に関する実習</li> </ul>

添付資料

1. 修士課程の概要（履修規程）
2. シラバス
3. 実習要項（実習内容・実習場所・指導教員等）